人生に必要なのは「感動」

人生に何も「感動」を持たない人は、生きる屍（しかばね）です。「感動」のみが、人を向上させます。スポーツの試合をしても、負けて悔しがり勝って喜ぶから、また、次へのファイトが湧くのです。負けてもどういうこともない人には、次への飛躍は期待できません。

＜ 鈴木　健二 ＞

来週末に迫った学区大運動会を前に、「人生に必要なのは感動」という元NHKアナウンサーの鈴木健二さんの言葉を皆さんに紹介します。先生自身も、「感動は人間を最も成長させる」ものだと強く信じて疑いません。大げさかもしれませんが、社会に出るまでに、どれだけ多くの「感動」体験をしたかで、その後の人生が大きく変わってくる気がします。ただ感動を味わうには、それだけ一つのことに集中し、人一倍の努力が必要となるはずです。

これからやってくる学区大運動会は、その機会として最もふさわしいのではないかと思います。「力いっぱい」（校訓）頑張る行事であればこそ、終わったときに忘れることのない思い出になるのではないでしょうか。一つのことに集中できない人間は、何をやってもダメな人間になってしまう気がします。

学区大運動会へ向けて！　“ つながれ！常南の心 ”（野村史佳）

ゴールデンウィーク（10連休）が終わり、5月7日（火）から、学区大運動会へ向けて練習が始まりました。初日は、入場行進や合同体操など全校児童に関わる全体練習、そして練習後に、全員で石拾いをして運動場をきれいにしました。

この運動会は、子どもたちの「心身の健全な発達や健康の補助増進」「安全な行動や規律ある集団行動の体得」「運動に親しむ態度」「責任感や連帯感の涵養」「体力の向上」などを目的に常磐南小の運動場で実施されます。

本校においては、学校・家庭・地域が絆を深める、伝統ある学校行事にもなっています。子どもたちは、入場行進・競技・演技の完成を目指して、仲間とともに目を輝かせながら練習に励み、心と体を鍛え、技を磨いています。私たちも、日々の練習の中で、子どもたちの確かな成長を感じながら、頑張っている子どもたちの思いに応えようと安全を第一に指導しています。保護者（家庭）や地域の皆さんには、「親子対抗玉入れ」「町別対抗玉入れ」「町別対抗綱引き」「障害物リレー」「各種団体対応リレー」などの種目に積極的にご参加いただき、学校・家庭・地域の絆を深めていただきたいと思います。